



**ザ・パック株式会社**

**2019年12月期  
決算説明資料**

2020年2月27日

# 目次

---

1. 2019年12月期 決算実績 P. 3
2. 2020年12月期 業績予想 P. 13
3. 参考資料 P. 16

# トピックス

- ◆ 売上高は6期連続最高額を更新  
紙器拡販による売上増(12.1%)が寄与
- ◆ 原材料費・人件費・物流費の増加や、本社社屋建替えに伴い、移転費用・賃借料  
および解体費用・固定資産の減損処理等により減益
- ◆ 2020年7月1日より プラスチック製買物袋有料化制度(無料配布禁止等)がスタート  
バイオマス等の環境対応素材に切り替えや紙袋への仕様変更の提案を進める
- ◆ 持続的成長に向けた投資に備え、財務体質の強化を図るとともに、配当性向ならびに  
株主への利益還元を配慮し、2019年12月期末配当を25円→30円に増配
- ◆ EC市場への省人・省力化のソリューション提案により拡販



# 1. 2019年12月期 決算実績

# 実績サマリー

## 6期連続 売上高 過去最高更新

(単位:百万円)

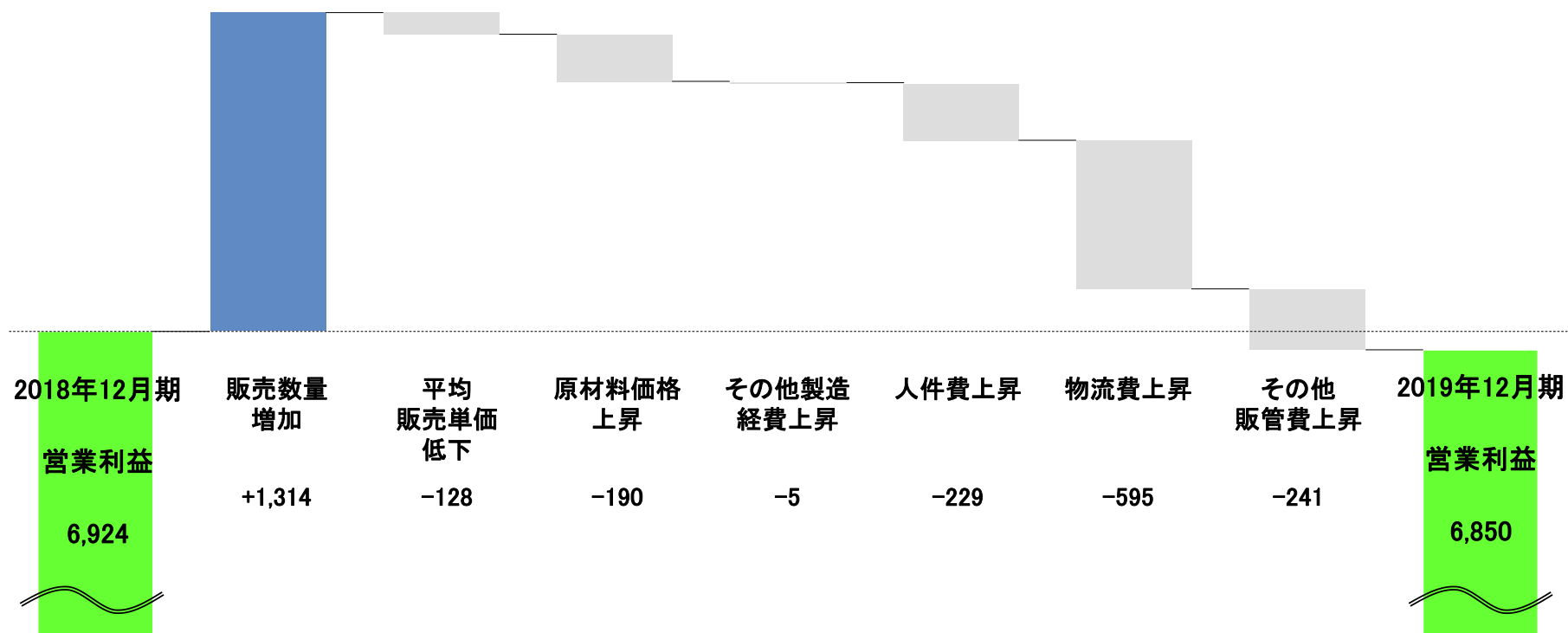
	2018年12月期	2019年12月期	
	実績	実績	前期比
売上高	93,126	95,502	2.6%
営業利益	6,924	6,850	△1.1%
経常利益	7,212	7,199	△0.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,968	4,700	△5.4%

- ◆ 売上高は過去最高額を更新
- ◆ 原材料費・物流費の増加や本社社屋建替えに伴う諸経費により減益  
(本社ビル減損損失164百万円及び解体費用190百万円含む)

# 営業利益増減要因

## 物流費の大幅増加により営業利益減少

(単位: 百万円)



- ◆ 紙加工品における商品構成変化による平均販売単価の低下
- ◆ 人件費は製造経費で188百万円、販管費で41百万円増加  
(カンナル印刷分1Q製造人件費69百万円・販管人件費58百万円を含む)
- ◆ 物流費のうち、運賃が374百万円増加し、棚卸資産増加により倉庫保管料が220百万円増加
- ◆ その他販管費には、本社移転にともなう経費82百万円および本社賃借料65百万円を含む

# セグメント別実績

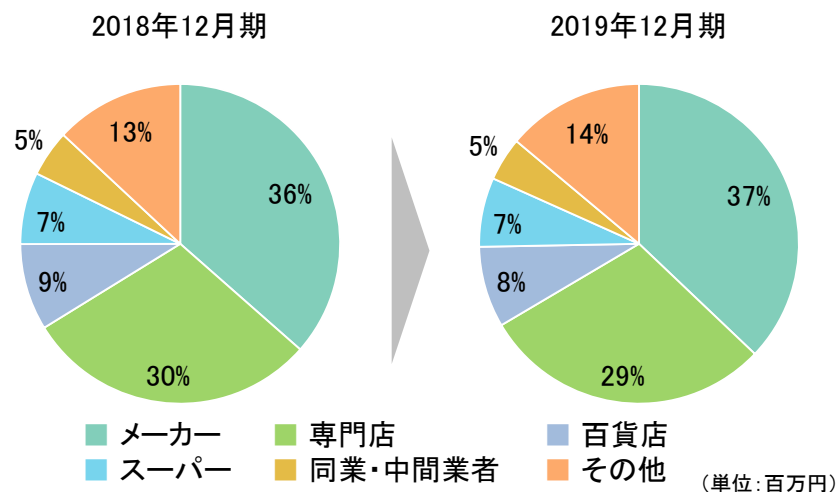
(単位: 百万円)

	2018年12月期		2019年12月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	93,126	100.0%	95,502	100.0%	2.6%
紙加工品事業	57,972	62.2%	60,353	63.2%	4.1%
紙袋	29,001	31.1%	29,264	30.7%	0.9%
紙器	16,384	17.6%	18,361	19.2%	12.1%
段ボール	10,443	11.2%	10,514	11.0%	0.7%
印刷	2,142	2.3%	2,213	2.3%	3.3%
化成品事業	19,641	21.1%	19,666	20.6%	0.1%
その他	15,512	16.7%	15,483	16.2%	△0.2%
営業利益	6,924	100.0%	6,850	100.0%	△1.1%
紙加工品事業	5,244	75.7%	5,265	76.9%	0.4%
化成品事業	996	14.4%	1,042	15.2%	4.5%
その他	1,511	21.8%	1,492	21.8%	△1.3%
調整額	△828	△11.9%	△949	△13.9%	-

- ◆ 紙加工品事業は、売上高は4.1%伸長するが、物流費の増加等により営業利益は0.4%増に留まる
- ◆ 化成品事業は、販売単価改定により営業利益額が4.5%増加し、営業利益率も改善

# 売上高構成

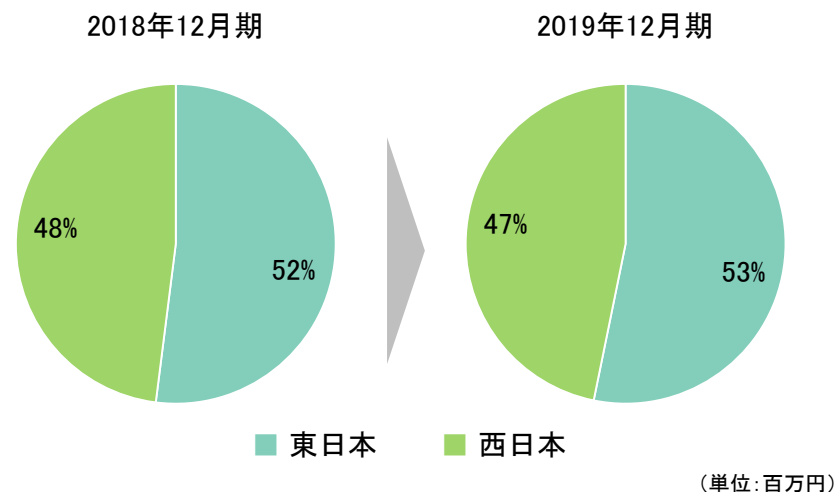
## 業種別売上高



	2018年12月期		2019年12月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
メーカー	29,936	36.3%	31,356	37.1%	4.7%
専門店	24,621	29.8%	24,838	29.4%	0.9%
百貨店	7,306	8.8%	6,937	8.2%	△5.1%
スーパー	6,037	7.3%	5,889	7.0%	△2.4%
同業・中間業者	3,862	4.7%	3,693	4.4%	△4.4%
その他	10,808	13.1%	11,884	13.9%	10.0%

- ◆ メーカー向けは、食品メーカーの紙器が好調
- ◆ 専門店向けは、eコマース用紙器・段ボールが増加
- ◆ スーパー向けは、食品一次容器などの商品を拡販
- ◆ 中間業者向けは、直接販売への切り替えを推進

## 拠点別売上高



	2018年12月期		2019年12月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
東日本	43,207	52.3%	45,010	53.2%	4.2%
西日本	39,365	47.7%	39,590	46.8%	0.6%

- ◆ 「東日本」では、前期に引き続きコンビニ・ファーストフード向け紙器の売上が増加



# 紙加工品事業

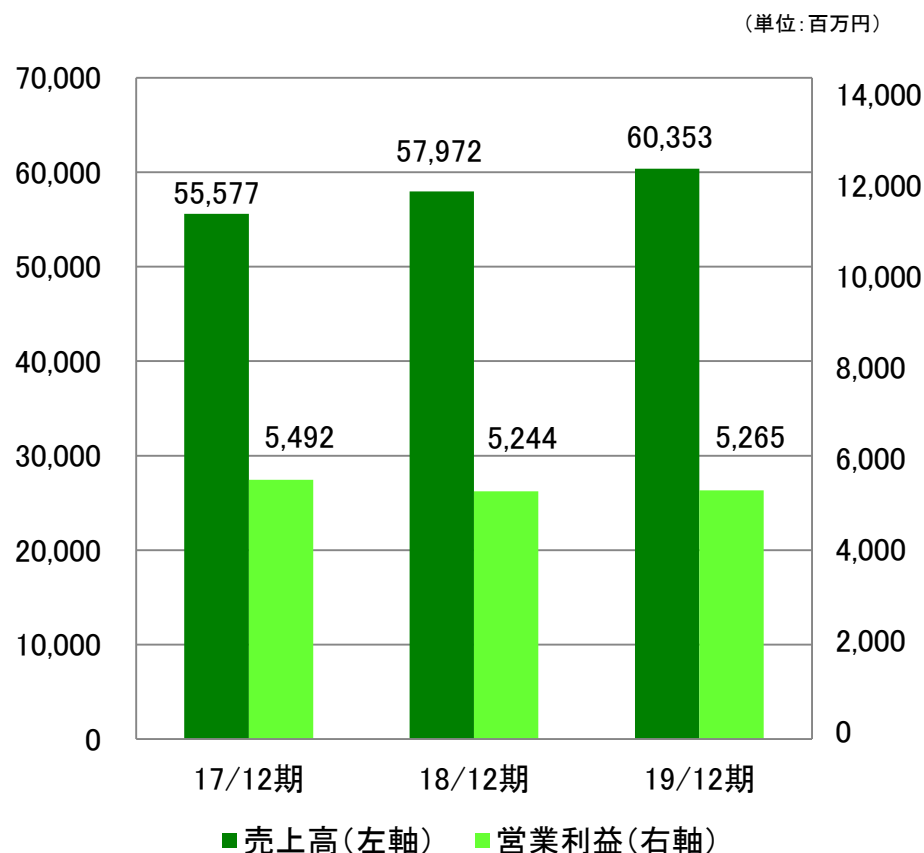
## 業界環境

- ◆ 世界的な海洋汚染問題からプラスチック製品の使用制限の動き → プラスチック製品の3R、紙化・バイオマス化への代替が進む
- ◆ 2020年7月1日より プラスチック製買物袋有料化制度（無料配布禁止等）がスタート予定  
有料化の価格設定だけでなく、環境対応素材への切り替えなど各社の対応が分かれる

## 取組み

- ◆ 紙袋・紙器でも環境負荷の小さい商品を提案
- ◆ 紙袋のコスト・機能等、顧客のニーズに合わせた幅広い積極的な提案
- ◆ コンビニ・ファーストフード・食品向け紙器の販売強化
- ◆ ソリューション開発部（2018年7月新設）の営業支援によるeコマース向け紙器・段ボール販売を強化

## 売上高・営業利益の推移



- ◆ 紙袋の売上高  
19/12期 前期比 +0.9%  
18/12期 前期比 +0.6%

- ◆ 紙器の売上高  
19/12期 前期比 +12.1%  
18/12期 前期比 +11.0%

# 化成品事業

## 業界環境

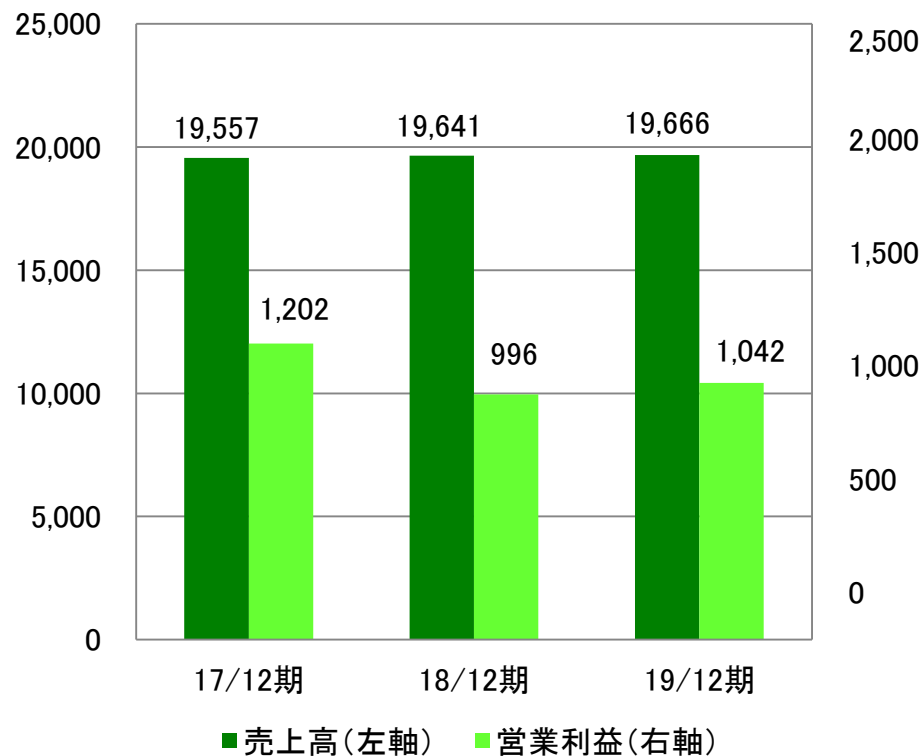
- ◆ 紙おむつ市場では大人用紙おむつが拡大傾向
- ◆ アパレル企業では手提袋をポリ袋から紙袋化＋有料化への動き

## 取組み

- ◆ 紙おむつの外装袋で環境対応の提案を進める
- ◆ 専門店・スーパー向けポリ袋において販売価格の適正化・改定
- ◆ 品質管理の強化
- ◆ バイオマス等、環境対応素材への提案強化

## 売上高・営業利益の推移

(単位:百万円)



- ◆ 販売価格の適正化・生産性向上により営業利益率の改善
- ◆ 営業利益率の推移  
19/12期 5.3%  
18/12期 5.1%

# その他事業

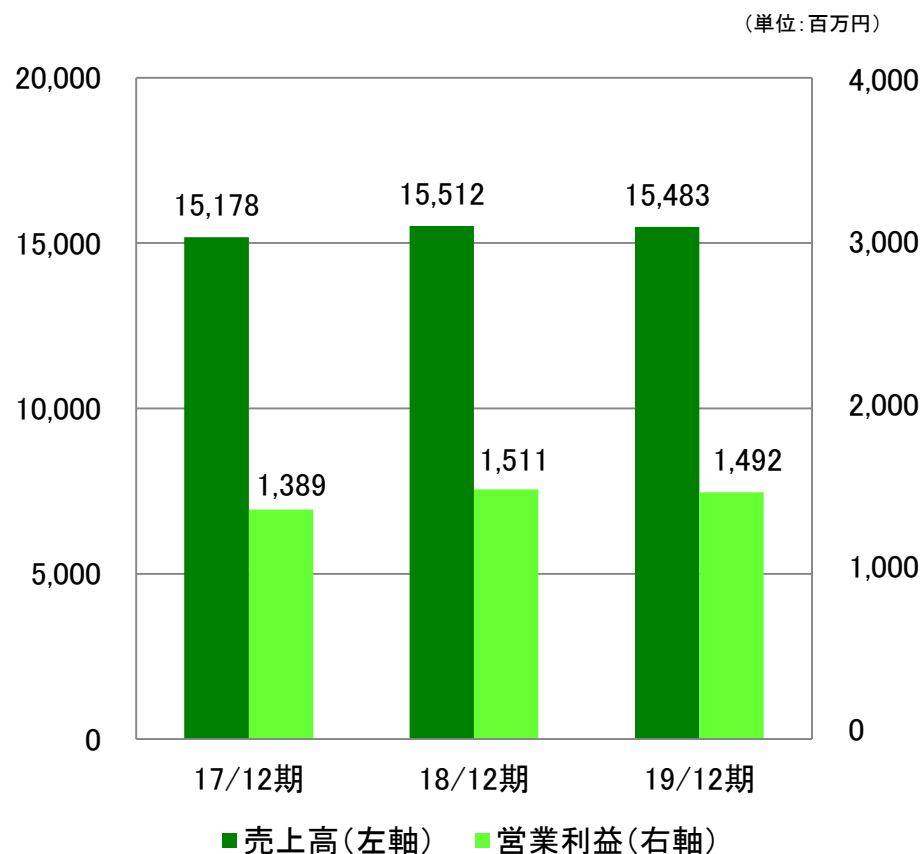
## 業界環境

- ◆ 百貨店業界の統廃合により、百貨店内で使用する用度品・事務用品の需要減
- ◆ 店舗での業務効率化(セルフレジ等)により値札のIT対応化

## 取組み

- ◆ PAS(Pack Assortment Service System)の取引内容・商品の見直しと合理化
- ◆ 市場のニーズに合った値札・タグ等付属品・販促品の提案・販売
- ◆ カンナル印刷(株)のグループ化により製薬メーカー市場での販売拡大

## 売上高・営業利益の推移



- ◆ PASの売上高で、用度品が642百万円減少。値札は108百万円増加
- ◆ カンナル印刷(株)の製薬メーカー向け販促品の売上高 1,226百万円(前期比較389百万円増加)を含む

# 貸借対照表

(単位:百万円)

	2018年12月期	2019年12月期
	実績	実績
資産	86,495	88,446
流動資産	54,455	57,017
固定資産	32,039	31,429
有形固定資産	20,746	20,781
無形固定資産	162	169
投資その他の資産	11,130	10,478
負債	29,719	29,951
流動負債	25,136	25,648
固定負債	4,582	4,302
純資産	56,775	58,495
株主資本	55,867	57,560
その他の包括利益累計額	745	811
新株予約権	81	93
非支配株主持分	81	29

# キャッシュ・フロー

(単位: 百万円)

主な項目	2018年12月期	2019年12月期
	実績	実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,742	6,599
税金等調整前四半期純利益	7,305	6,899
負ののれん発生益	△54	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,705	△4,136
有価証券の取得による支出	△3,300	△7,500
有価証券の売却による収入	4,900	4,000
有形固定資産取得による支出	△1,224	△1,492
投資有価証券取得による支出	△5,104	△160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,059	△3,319
自己株式取得による支出	△0	△2,049
現金及び現金同等物期末残高	19,181	18,307

- ◆ 営業活動によるキャッシュ・フローについては、前期にカンナル印刷(株)統合による負ののれん発生益計上
- ◆ 有価証券の取得による支出については、譲渡性預金・コマーシャルペーパー等の短期運用
- ◆ 財務活動によるキャッシュ・フローについては、TOBIにより65万株を自己株として取得



### **3. 2020年12月期 業績予想**

# 業績予想

## 7期連続 売上高 過去最高 更新予定

(単位:百万円)

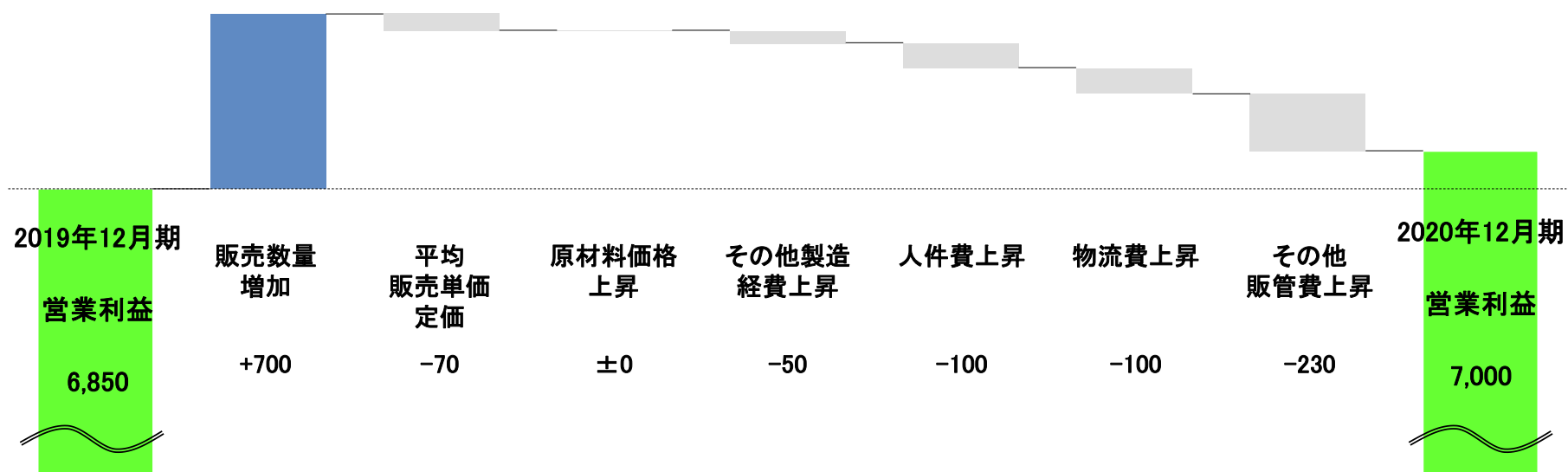
	2019年12月期	2020年12月期	
	実績	業績予想	前期比予想
売上高	95,502	96,800	1.4%
営業利益	6,850	7,000	2.2%
経常利益	7,199	7,300	1.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,700	4,900	4.2%

- ◆ 貿易摩擦を中心としたグローバルリスクの継続、自然災害リスクや新型コロナウイルス感染拡大による経済への影響、本年7月より義務化されるレジ袋有料化の市場に与える影響等不透明な外部環境
- ◆ 売上高は過去最高達成の見通し
- ◆ 利益は3期ぶりに増益の見通し

# 営業利益予想増減要因

## 紙加工品の売上増により増益

(単位:百万円)



- ◆ 紙加工品の売上数量増により増益の見通し
- ◆ 原材料価格は安定する見込み
- ◆ 物流費増加の影響は軽減する見込み





## 4. 参考資料

# 会社概要

商号	ザ・パック株式会社（英文：THE PACK CORPORATION）
設立	1952年5月（1991年9月上場：2003年6月東証一部）
本社所在地	大阪市北区天満橋1丁目8番30号 OAPタワー20階
事業内容	ペーパーバッグ（紙袋）、フィルムパッケージ、印刷紙器、段ボール製品の企画・製造・販売
役員	代表取締役社長 稲田 光男 他取締役8名(社外2名) 監査役 4名(社外2名)
従業員数	連結1,271名(単体908名)
グループ企業	連結子会社8社(国内、米国、中国)
取引銀行	三菱UFJ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ信託銀行、三井住友信託銀行、みずほ銀行
大株主	公益財団)森田記念福祉財団10.9%、ビービーエイチフォーフィデリティロープライズストックファンド(プリンシパルオールセクターサブポートフォリオ) 8.1%、自社取引先持株会 6.7%、日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口4)4.5%、北越紀州製紙 3.2%、日本マスタートラスト信託銀行(信託口) 3.1%、大王製紙 3.0%

(2019年12月末現在)

# ザ・パックグループ（連結子会社8社）

## ザ・パック株式会社

本社(大阪)



東京本社ビル



大阪工場



奈良工場



東京工場



茨城工場



(全事業所においてISO9001、ISO14001認証取得済)

## 国内子会社

(株)京浜特殊印刷



日幸印刷(株)



オフセット印刷機

(株)パックタケヤマ



フレキシ印刷機

西日本印刷工業(株)



オフセット印刷機

カンナル印刷(株)



## 海外子会社

### 中国 連結子会社

特百嘉包装制品(常熟)有限公司



特百嘉包装品  
貿易(上海)  
有限公司



### 米国 連結子会社

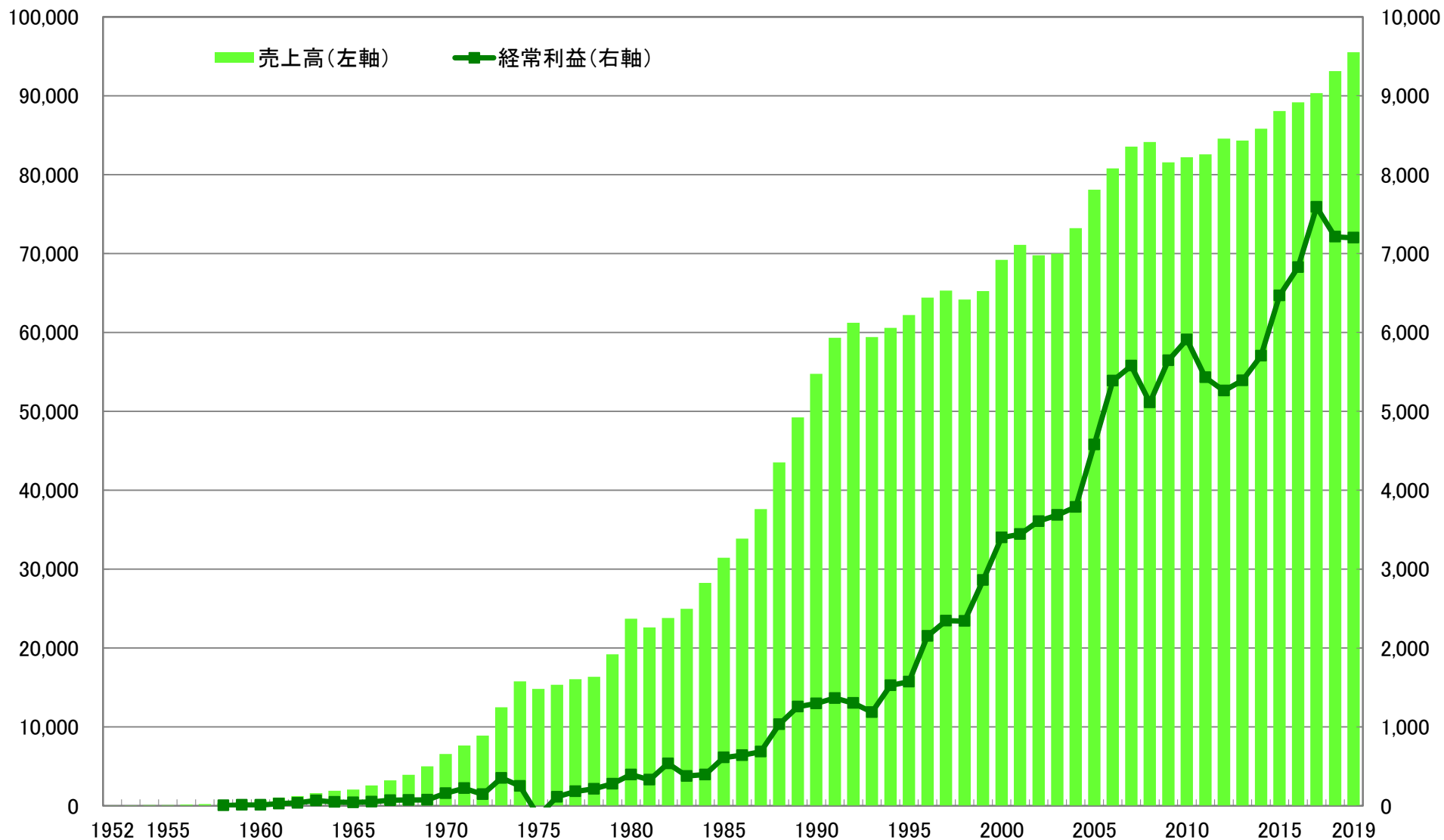
ザ・パックアメリカ(NY)



(2019年6月現在)

# 売上高・経常利益の推移 (連結) 会社設立(1952年) ~ 2019年


(単位:百万円)



# ザ・パックの強み(1)

強み	内容												
<p>1.幅広い顧客層</p>  <p>アパレル</p>	<p>◆ 取引社数 約14,000社 百貨店・量販店・一般小売・ コンビニエンスストア・ファーストフード・ アパレル・食品・家電メーカー・通販・・・</p> <p>⇒ <u>特定の業界不況の影響を 受けにくい顧客基盤</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="652 731 1253 1285">  <p>食品産業</p> </div> <div data-bbox="1419 870 1937 1378">  <p>生活産業</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <p>2019年12月期</p>  <table border="0" style="margin-left: auto;"> <tr> <td style="color: green;">■</td><td>メーカー</td> <td style="color: lightgreen;">■</td><td>専門店</td> <td style="color: blue;">■</td><td>百貨店</td> </tr> <tr> <td style="color: lightblue;">■</td><td>スーパー</td> <td style="color: yellow;">■</td><td>同業・中間業者</td> <td style="color: orange;">■</td><td>その他</td> </tr> </table> </div>	■	メーカー	■	専門店	■	百貨店	■	スーパー	■	同業・中間業者	■	その他
■	メーカー	■	専門店	■	百貨店								
■	スーパー	■	同業・中間業者	■	その他								

## ザ・パックの強み(2)

強み	内容
2.トータルパッケージのソリューション提供	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ (サポート体制の充実) 営業・リサーチ企画部門・設計やデザイン部門が協同提案</li><li>◆ (ノウハウ・情報量の充実) 国内最大規模のパッケージラボを運営</li></ul> <p>⇒ <u>顧客の幅広いニーズに応え</u> <u>コンサルティングによるソリューション提供</u></p> <div data-bbox="971 779 1955 1372"></div> <p data-bbox="1328 1378 1601 1421">パッケージラボ</p>



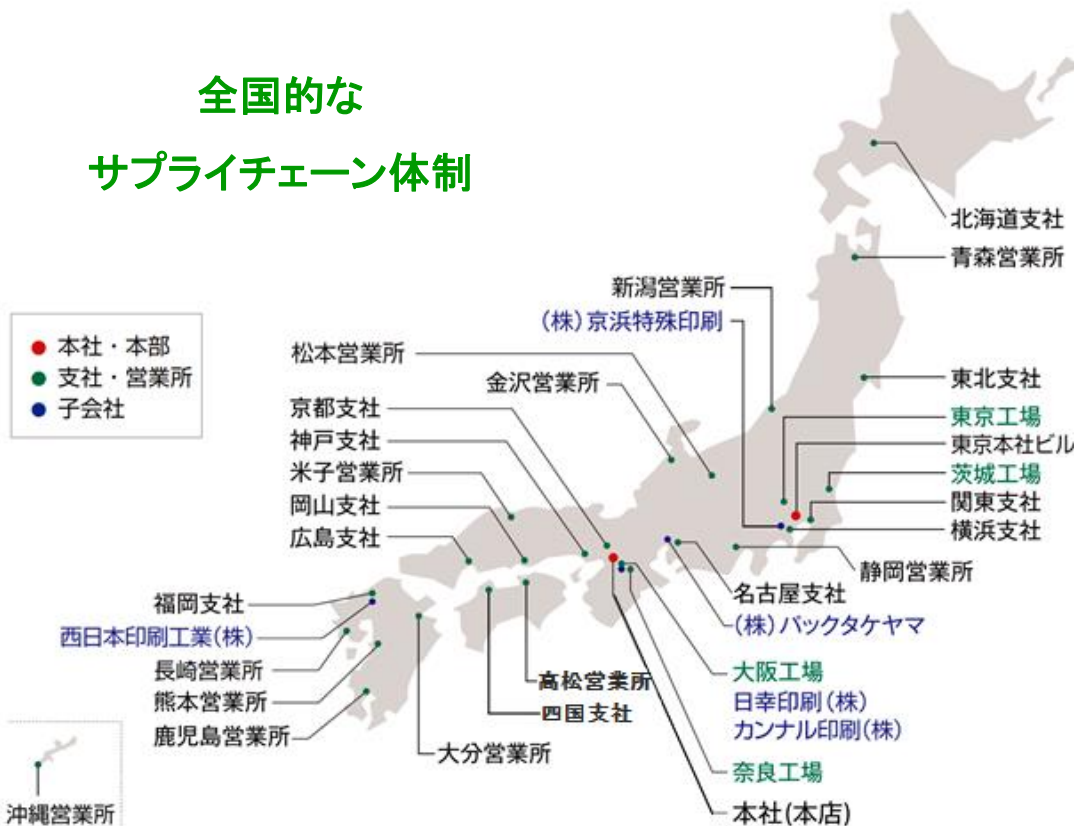
# ザ・パックの強み(3)

強み

内容

## 3.製造・販売・物流一貫体制

全国的な  
サプライチェーン体制



国内4工場・グループ会社・外部委託工場との協力により  
災害・事故などの発生時のリスクマネジメントにも対応

当社グループ

印刷工場



化成品工場



段ボール工場



製造

紙袋工場



紙器工場



全国各地の直販営業体制

物流

製品






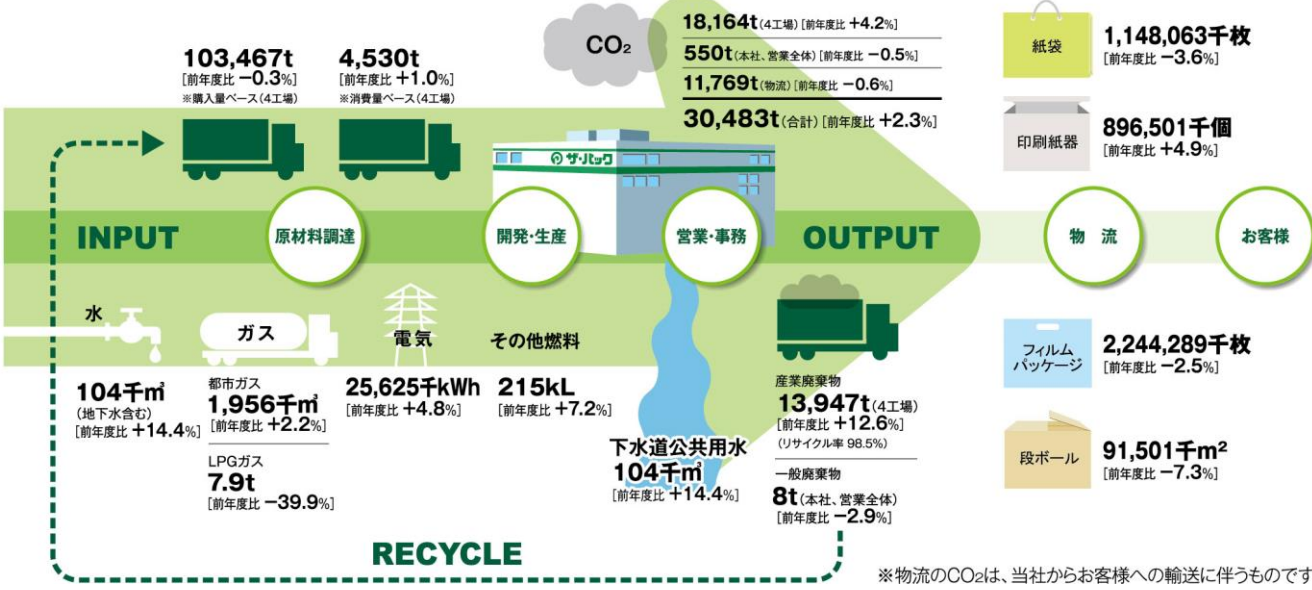
全国各地の顧客

# ザ・パックの強み(4)

強み	内容
<p>4.品質管理体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 全社にて、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001認証を取得</li> <li>◆ 東京工場・大阪工場にて               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ <u>食品安全マネジメントシステムの国際規格FSSC22000認証を取得</u></li> </ul> </li> <li>◆ 「品質強化によるCSの向上」の方針のもと、安全・安心な製品の提供、顧客の信頼と満足を得られるように取組む</li> </ul>
<p>5.ITを駆使した顧客とのネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 包装資材や備品等をまとめて納品               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ <u>一括納品による物流の合理化でCO2削減にも貢献</u></li> </ul> </li> <li>◆ Web発注『Pack-Web』提供               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ <u>顧客の発注業務を合理化</u></li> </ul> </li> </ul> <div data-bbox="1367 939 1947 1416" data-label="Diagram"> </div>









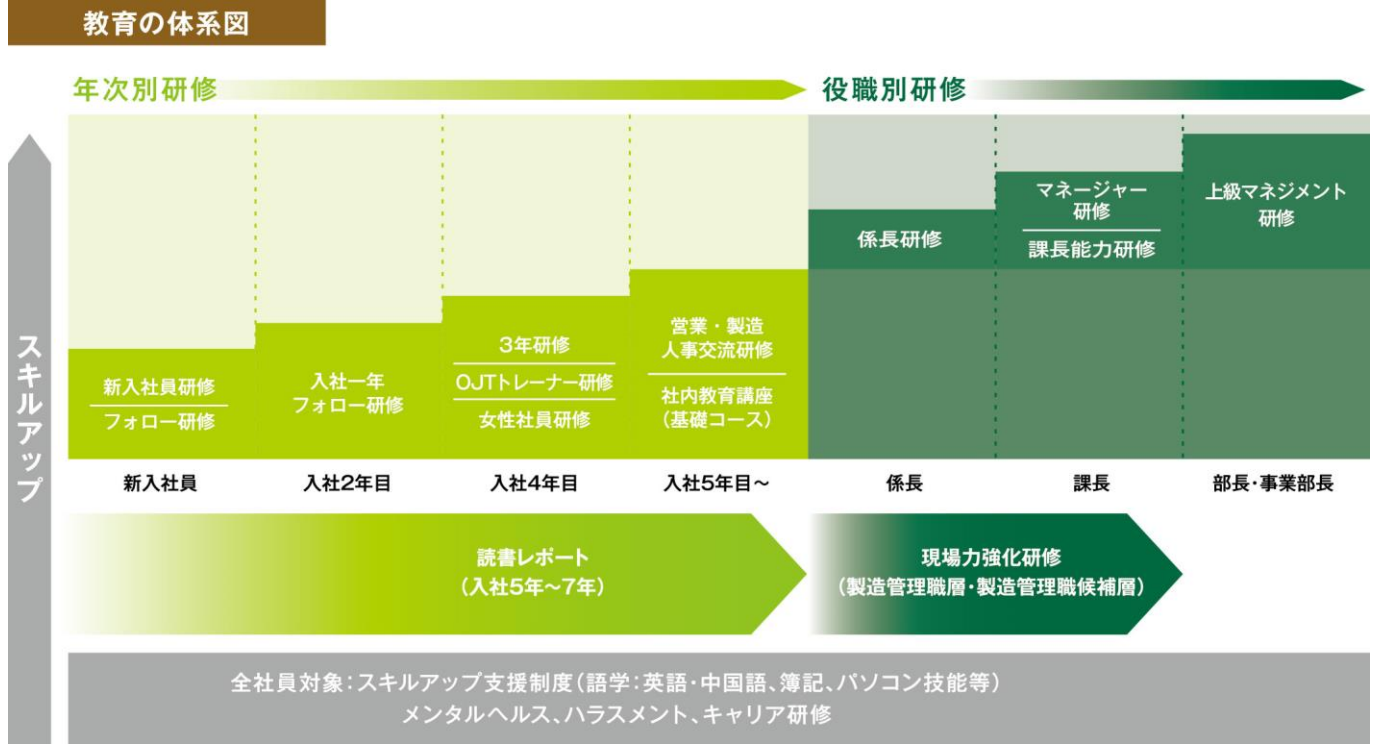
# ESGへの取組み(1)

取組み	内容
<p>1.環境への取組み</p> <p>SDGsとの 関連性</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>14 海の豊かさを守ろう</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>  </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 2006年に国内の全工場・事業所でISO14001の認証取得</li> <li>◆ CO2排出量や廃棄物の削減、環境対応商品の開発など様々な取組み実施</li> </ul> <div style="text-align: center;"> <p><b>環境負荷の全体像</b></p> <p>生産活動全体における環境負荷を把握し、負荷の低減に向けて取組んでいます。 ※4工場(大阪工場、奈良工場、東京工場、茨城工場)及び本社・営業グループのデータを記載しています。</p> </div>  <p><b>INPUT</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>103,467t [前年度比 -0.3%] ※購入量ベース(4工場)</li> <li>4,530t [前年度比 +1.0%] ※消費量ベース(4工場)</li> <li>104千m<sup>3</sup> (地下水含む) [前年度比 +14.4%]</li> <li>都市ガス 1,956千m<sup>3</sup> [前年度比 +2.2%]</li> <li>LPGガス 7.9t [前年度比 -39.9%]</li> <li>25,625千kWh [前年度比 +4.8%]</li> <li>215kL [前年度比 +7.2%]</li> <li>下水道公共用水 104千m<sup>3</sup> [前年度比 +14.4%]</li> </ul> <p><b>OUTPUT</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙袋 1,148,063千枚 [前年度比 -3.6%]</li> <li>印刷紙器 896,501千個 [前年度比 +4.9%]</li> <li>フィルムパッケージ 2,244,289千枚 [前年度比 -2.5%]</li> <li>段ボール 91,501千m<sup>2</sup> [前年度比 -7.3%]</li> </ul> <p><b>RECYCLE</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物 13,947t (4工場) [前年度比 +12.6%] (リサイクル率 98.5%)</li> <li>一般廃棄物 8t (本社、営業全体) [前年度比 -2.9%]</li> </ul> <p>※物流のCO<sub>2</sub>は、当社からお客様への輸送に伴うものです。</p>

# ESGへの取組み(2)

取組み	内容										
<p>2.ザ・パック フォレスト (森林保全活動)</p> <p>SDGsとの 関連性</p> <div data-bbox="128 1105 576 1398"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 2000年に独自の森林保全活動を行う「ザ・パックフォレスト」を設立</li> <li>◆ 環境対応商品の販売額の一部をフォレスト環境基金として拠出</li> <li>◆ 運営はNPO法人「地球と未来の環境基金(EFF)」に委託</li> <li>◆ 社員だけでなく・顧客・一般の方とボランティア実施</li> </ul> <div data-bbox="700 531 1657 993"> </div> <div data-bbox="1750 423 1937 616"> </div> <div data-bbox="1750 631 1958 700"> <p>ザ・パック フォレストマーク</p> </div> <div data-bbox="1771 770 1937 931"> </div> <div data-bbox="1761 947 1937 1016"> <p>地球と未来の 環境基金</p> </div> <div data-bbox="762 1085 1404 1316"> </div> <div data-bbox="1004 1339 1191 1378"> <p>(活動風景)</p> </div> <div data-bbox="1460 1085 1937 1316"> <table border="1"> <tr> <td>拠出基金額</td> <td>1.52億円</td> </tr> <tr> <td>植樹本数</td> <td>20,465本</td> </tr> <tr> <td>参加者合計</td> <td>6,907人</td> </tr> <tr> <td>植樹面積</td> <td>21.8Ha</td> </tr> <tr> <td>年間 CO2 吸収量</td> <td>132.7t</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="1678 1347 1916 1386"> <p>(2019年 12月末)</p> </div>	拠出基金額	1.52億円	植樹本数	20,465本	参加者合計	6,907人	植樹面積	21.8Ha	年間 CO2 吸収量	132.7t
拠出基金額	1.52億円										
植樹本数	20,465本										
参加者合計	6,907人										
植樹面積	21.8Ha										
年間 CO2 吸収量	132.7t										

# ESGへの取組み(3)





取組み	内容
<p>3.人材育成と 職場づくり</p>           <p>SDGsとの 関連性</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>3 すべての人に 健康と福祉を</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>4 質の高い教育を みんなに</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>5 ジェンダー平等を 実現しよう</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>8 働きがいも 経済成長も</p>  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 社は「愛し愛され」、経営理念「人を大切に 人を育てる経営」の考えに則り、人材育成、育児・介護支援、雇用の安定、その他社員の福利厚生に取組む ～ 年次別研修、役職別研修、現場力強化研修など人材育成制度の充実化</li> <li>◆ 「健康経営優良法人2019～ホワイト500～」に認定 社員の健康維持・増進と、個々の健康意識向上に取組む</li> </ul> <div style="text-align: right;">  <p>健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p><b>教育の体系図</b></p>  <p>年次別研修 → 役職別研修</p> <p>スキルアップ</p> <p>新入社員 入社2年目 入社4年目 入社5年目～ 係長 課長 部長・事業部長</p> <p>読書レポート (入社5年～7年)</p> <p>現場力強化研修 (製造管理職層・製造管理職候補層)</p> <p>全社員対象：スキルアップ支援制度(語学:英語・中国語、簿記、パソコン技能等) メンタルヘルス、ハラスメント、キャリア研修</p> </div>

# ESGへの取組み(4)

取組み	内容	
<p><b>4.環境教育</b></p> <p>SDGsとの 関連性</p> 	<p>◆ 「環境教育」の一環として、東大阪市と協同し小学校で「もの作り体験教室」実施</p> 	
<p><b>5.地域貢献活動</b></p> <p>SDGsとの 関連性</p> 	<p>◆ 社員一人ひとりが地域社会とつながり、地域貢献ができる仕組みづくり</p> <p>◆ 社員の自主的参加により社会貢献へのモチベーション向上、能力開発援助へ</p> <p>◆ 事業所周辺の清掃活動</p> 	<p>◆ 児童書の贈呈</p> 



# 各国の使い捨てプラスチック対策

アイテム	対策		
	◆ 有料化・課税	アジア圏	韓国・ベトナム・インドネシア・イスラエル
		アメリカ圏	コロンビア
		ヨーロッパ圏	ベルギー・ブルガリア・チェコ・デンマーク・ポルトガル・エストニア・ギリシャ・ハンガリー・アイルランド・イタリア・ラトビア・マルタ・オランダ・ポルトガル・ルーマニア・スロバキア・キプロス
		オセアニア圏	フィジー
		アフリカ圏	ボツワナ・チェニジア・ジンバブエ
	◆ 製造・販売・使用等の禁止	アジア圏	バングラデッシュ・ブータン・中国・台湾・インド・モンゴル・スリランカ
		アメリカ圏	アンティグアバーブーダ・ハイチ・パナマ・ベリーズ
		ヨーロッパ圏	フランス
		オセアニア圏	パプアニューギニア・バヌアツ・マーシャル諸島・パラオ
		アフリカ圏	アフリカ 25 カ国（コートジボワール・エチオピア・ケニア・モロッコ・セネガル・南アフリカ等）
	◆ 販売禁止	ヨーロッパ圏	フランス
	◆ 無償提供の禁止	アジア圏	台湾 ※方針発表
	◆ 販売禁止	ヨーロッパ圏	イギリス ※方針発表
	◆ 店舗提供の禁止	アジア圏	台湾 ※方針発表
	◆ 販売禁止	ヨーロッパ圏	フランス

出典：環境省「プラスチックを取巻く国内外の状況」（2018年8月）より抜粋

## 注意事項

本資料は、2019年12月期決算の業績および経営方針に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。又、本資料は2019年12月末日現在のデータを基に作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更することがあります。

## IRに関するお問い合わせ先

ザ・パック株式会社 総務部 IR広報室

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-8-4

TEL: 03-3469-1221 FAX: 03-3469-1353 メールアドレス: [koho@thepack.co.jp](mailto:koho@thepack.co.jp)